

NERA 会員各位

2012 年 2 月 8 日
人間・環境学会事務局

第96回研究会「環境行動研究の視点からの防災と復興」

趣旨

昨年 3 月 11 日 の東日本大震災において、防潮堤などのハード面の備えだけでは不十分であり、災害に備えるため、あるいは災害からの生活再建を円滑に行うための環境整備およびマネジメントといったソフト面が重要であることがあらためて認識された。この研究会では、まずその実践例として、2004 年の新潟 中越地震以降、長年にわたって被災者を生活環境の面から支援してきた岩佐明彦氏に、その活動について、特に仮設住宅の「トリセツ（取扱説明書）」(<http://kasetukaizou.jimdo.com/>)について語って頂く。次に、ラハマ・シャムさんに、2006 年のジャワ島中部地震後に海外から寄付された復興住宅における生活実態の調査から、生活環境の再建過程における文化的フィットネスの重要性について報告して頂く。最後に、サンジョイ・マザムダー氏に、防災および災害発生後の復興において、住民の生活文化に根差した場所性の大切さについて論じて頂く。これらの報告を受けて、災害に関わる環境行動研究とそれに基づく実践がどのように貢献しうるのかについて議論したい。

□日時：2012 年 3 月 5 日(月) 15:00～18:00 (研究会終了後、懇親会開催の予定)

□会場：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 8 階 806 会議室 (別紙参照)
東京都港区芝浦 3-3-6 (<http://www.titech.ac.jp/about/campus/t.html>)

□参加費：会員・学生：500 円、一般：1,000 円

□ プログラム

- ・報告 1 TORISETSU: How to Customize and Personalize Temporally Housing
- Resilience in Customization of Temporary Housing -
(「仮設のトリセツ」の取説—仮設住宅の住みこなしと回復力—)
岩佐 明彦 氏 (新潟大学)
- ・報告 2 Residents' Usage, Adjustment to and Evaluation of Donated Post-Disaster Housing
(海外の寄付による復興住宅への適応問題)
Ms. Rachma M. Syam (東京工業大学)
- ・報告 3 An Alternative Approach to Disaster Planning: a cultural ecological view
(防災・復興計画の新たなアプローチ：文化生態学的視点)
Dr. Sanjoy Mazumdar (カルフォルニア大学、アーバイン校)

※ 2月29日(水) 夕方5時までに FAX またはE-MAIL でお申し込み下さい。

事務局 FAX : 06-6879-7641

E-MAIL : mera@arch.eng.osaka-u.ac.jp

人間・環境学会第96回研究会 参加申込書

人間・環境学会第96回	研究会に	参加します (名)
	懇親会に	参加します (名)

御名前 : _____

御所属 : _____

TEL : _____ FAX : _____

E-mail : _____

■ アクセスマップ

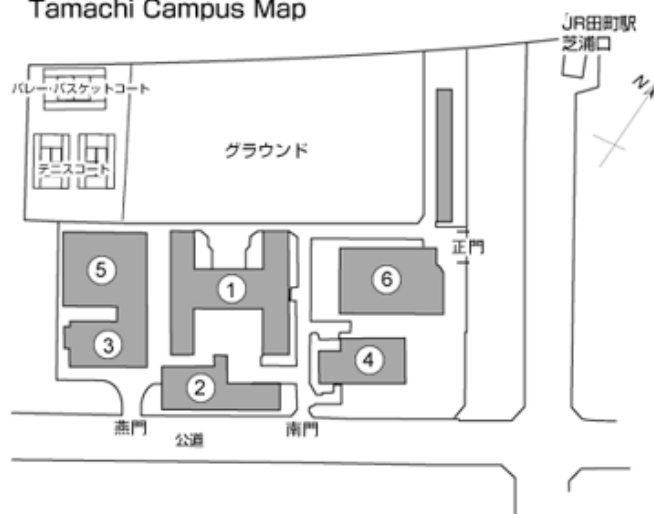
□ 所在地

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6

東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター
 (下図⑥の建物)

田町キャンパスマップ

Tamachi Campus Map



□ 最寄り駅

JR 田町駅（山手線・京浜東北線）より徒歩2分

MAP

- 大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩1分）
- すずかけ台キャンパス 東京急行田園都市線（すずかけ台駅下車徒歩5分）
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩2分）

